

顔を合わせて竹の台のまちを話し合おう！

27年度 ～自治会・管理組合団体別懇談会実施結果報告

竹の台地区では、平成26年度策定の「竹の台5カ年計画」に基づき、「地域団体のあり方」に関する意見交換の場を設けています。

昨年(平成26年)度は1丁目～6丁目の丁目別に自治会や管理組合の役員の方に集まいただき「自治会・管理組合同士の連携」「活動や経験が蓄積しやすい自治会・管理組合の運営体制の支援」の実現に向けて情報交換を行いました。参加団体にとっては隣接する団体から有用な情報を得る機会となった一

方で、「自治会」「戸建て管理組合(会)」「マンション管理組合」といった団体組織ごとに、活動内容や抱える課題が異なることがわかりました。

そこで今年(平成27年)度は、これらの課題をより深く議論するため、団体別に懇談会を実施しました。実施結果は下記の通りです。来年度も、地域の課題解決に向けて、引き続きこのような議論の場を設けていきたいと考えています。

28年度も
継続して実施します
各自治会、管理組合の役員の皆様
ご出席よろしくお願いたします。

(1) 戸建て自治会

実施日 7月12日(日)
参加団体数 5団体/6団体内
参加人数 27名



27年度話し合ったテーマ	参加者から出された意見	地域委員会から	(参考) 昨年度出された課題
継続発展できる自治会運営体制と交流活動 ※交流事業が減少し、会費も余ってきている。有効に使いたい。	自治会運営体制について ・ 役員の半数交代 ・ マニュアルの作成	・ 役員任期2年、1年ごとに半数交代制で引継や活動が継続・発展している団体を紹介	・ 自治会脱退や未加入防止 ・ 魅力ある交流行事づくり ・ 高齢化 ・ 役員の負担軽減
	交流活動について ・ まつりを交流の場として活用(1・5丁目) ・ ホテルで食事会など	・ ふれあいまつりの場の活用を提案(休憩用テントレンタル、模擬店やフリマなど)	・ 役員が一年一斉交代で課題解決や活動の継続発展が困難
	空き家について ・ 自治会費徴収は1団体のみ	・ 自治会で見守っている中で、自治会費を徴収しても良いのでは?	・ 空き家率の上昇
	防犯活動について ・ 通報に基づき、独自のパトロールを実施した団体も ・ 防犯カメラの設置を地域委員会で	・ 空き巣や付きまとい情報のチラシを月1回交番で配布している。活用を。 ・ 防犯カメラの助成対象は自治会。まず会の中で検討して欲しい。	・ 門灯点灯(独自の防犯活動)(その他) ・ ゴミSTの掃除 ・ 猫の餌やり ・ 回覧の内容(要不要の判断)



27年度話し合ったテーマ	参加者から出された意見	地域委員会から	(参考) 昨年度出された課題
道路・下水道の市への管理移管について ・ 神戸市から(出前トーク)共有道路の公道化(用地寄附)の説明 ・ 具体事例紹介 竹の台内で現在道路等寄附手続進行中の管理組合から	神戸市に対しての質問 寄附のための要件について 手続推進中の団体への質問 寄附手続の進め方や団体内の体制について	・ 第1回目に、管理組合の共有財産に関するアンケートを実施した結果、役員間でも共有財産の認識が異なることがわかった。共有財産について、まずは住民が認識を共有することが必要ではないか。	敷地内の共有財産の維持管理 ・ 道路・下水道の市への管理移管について(9団体)
集会所について 維持管理・活用について 意見交換	・ 利用と維持管理のバランスが難しい ・ 目新しい活用提案は出ず	・ 地域の貴重な財産。利用や維持管理について、地域全体での活用も視野に入れ、各団体に議論して欲しい	集会所の活用について (3団体)



(2) 戸建て管理組合・管理会

①実施日 6月7日(日)
参加団体数 11団体/12団体内
参加人数 24名
②実施日 10月25日(日)
参加団体数 10団体/12団体内
参加人数 24名



(3) マンション管理組合

実施日 9月13日(日)
参加団体数 4団体/4団体内
参加人数 10名



27年度話し合ったテーマ	参加者から出された意見	地域委員会から	(参考) 昨年度出された課題
防災訓練 ・ 実施方法の工夫 ・ 要支援者対応	・ 参加者アップへ⇒清掃・茶話会・フリマ・もちつきなどの交流行事を同時開催。(管理会社と連携)	マンション内や地域との交流・親睦があることが「(セルフ)セイフティーネット」として資産価値を高めるとも言われている。	防災活動の必要性 ・ 地震・高層階火災への対応 ・ 防災訓練の参加者が少ない
マンション内及び地域との交流 ・ 神戸市「すまいるネット」からマンションと地域との交流に関する資料を入手し配布	・ 退職した男性の集まる場が少ない⇒「ゴルフの会」 ・ 子ども会の不在も問題 ・ 高齢化への対応	また、独居老人や、災害発生時の対応には日ごろからの地域との連携が大切である。新しく入居が始まる2つのマンションも含めて、管理組合としてこれらの活動にも取り組める体制を整えて欲しい。	住民同士の交流の場がない

